

平成27年度 公益社団法人京都市観光協会事業報告

平成27年度重点取り組み項目について

1 40回記念「京の夏の旅」、50回記念「京の冬の旅」の一層の充実と記念事業の実施

「京の夏の旅」「京の冬の旅」キャンペーンがそれぞれ40回目と50回目という記念すべき節目の年を迎え、記念事業を実施するとともに、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」という新たなテーマをもとに観光メニューを企画し、新たな京都ファンの確保に向けた京都観光の振興を図った。

また、次年度事業の早期の企画発表や情報提供、魅力あるテーマの設定、観光客のニーズに応えたイベントの実施、誘致宣伝販売の強化など、京都への旅行商品造成と宣伝販売促進に努めるとともに、JRや関西私鉄各社、京都市交通局でのポスター掲出、パンフレット配布などの宣伝協力を得、より一層の京都観光の盛り上げを図った。

(1) 40回記念「京の夏の旅」

27年度は、8月下旬以降、猛暑日もなく気候に恵まれたことや、「京の夏の旅」40回を記念し、西日本エリアでの観光キャラバンや東京・六本木における大規模な誘客キャンペーンの実施など広報にも力を入れ、またJR各社をはじめ、京阪、阪急、近鉄、南海、阪神の私鉄各社、市交通局や旅行会社各社など、関係機関との密接な連携のもと幅広い宣伝展開を図った結果、多くの観光客を受け入れることができた。

文化財特別公開については、拝観見学者数は過去最高であった昨年の実績124,839人を大きく上回る151,555名を数え記録を更新した。特に式年遷宮を迎えた上賀茂神社、下鴨神社には約94,000人の来場者があり、大変好評であった。近年低調であった「定期観光バス特別コース」についても、昨年に引き続き好調で、乗客数3コース合計8,712人で対前年比105%となった。

(2) 50回記念「京の冬の旅」

JR6社共同によるデスティネーションキャンペーンとして全国規模での誘致宣伝に努めるとともに、50回を記念し、JR東海と連携した東京における特

別イベントやJR西日本と連携した「トワイライトエクスプレス 京の冬の旅50回記念号」運行等の記念事業を実施した。

また、関西私鉄各社、京都市交通局の宣伝協力や、大阪、神戸の交通局とも連携を図り、近郊都市での宣伝強化にも努めた。

非公開文化財特別公開については、拝観者数は対前年度比99%、拝観者数が348,705名と、前年度とほぼ同じ結果となった。

「京の冬の旅」定期観光バス特別コースは、観光客の幅広いニーズに対応するため、今年度新たに、坐禅と開門前の寺院貸切拝観を取り入れた「朝のコース」や学びの要素が詰まった「大人の修学旅行コース」を設定し、好評を博したが、特別コース12コースの合計は12,209人で、対前年度比81%となった。

2 京都「千年の心得」、「京のたしなみ」等体験プランの充実と通年型観光の推進

千年を超える歴史に培われた京都ならではの奥深い上質な魅力に出会うことのできる体験型観光プラン京都「千年の心得」事業、京都の伝統文化、伝統産業の魅力にふれることのできる体験型素材を集めたキャンペーン「京のたしなみ」事業、京の食をテーマとしたキャンペーン「食遊菜都」等の体験型観光プランの充実を図るとともに、「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」といった新たなテーマをもとに観光メニューを企画し、京都への更なる観光客誘致推進を図った。

3 外国人観光客受入対策の強化

急増する外国人観光客の受入に対応するため、多言語地図の配布や昨年度に創刊した英語情報誌「Kyoto Recommends」を継続発行し、より深く多様な京都を楽しんでもらえるエリア特集や協会会員施設の紹介など、外国人観光客に向けて協会ならではの情報を発信した。

多くの外国人観光客が連日利用する京都総合観光案内所では、市内各所の観光案内機能を持つ施設が相互に情報共有できる関係を構築することを目的に、「京都市内観光案内所ネットワーク会議」に参画し、京都観光の玄関口である京都駅でのより一層のホスピタリティ向上に努めた。

また、秋の紅葉シーズンおよび春の桜シーズンの「京なび」混雑緩和の取り組みとして、JR京都駅前広場に臨時観光案内所を開設し、外国人観光客の利便性の向上にも取り組んだ。

4 京都四大大行事の円滑な執行の支援

京都の観光振興に欠かせない葵祭・祇園祭・京都五山送り火・時代祭の京都四大大行事が、安定的に執行されるよう補助金の交付をはじめとする支援を行うとともに、タイムリーな催事情報を伝えるため、ホームページや SNS を活用し情報発信に努めた。

葵祭・祇園祭・時代祭については、観覧席を設置し、観光客の利便や旅行会社のツアー設定に寄与したほか、観覧席周辺の沿道整理や警備に貢献した。時代祭では御池通に通訳案内士による英語解説付き観覧席を新設し、外国人観光客への利便性の向上を図った。

また、葵祭・京都五山送り火については、協賛会の事務局を務め、協会会員への募金活動等を行い、行事の円滑な運営に寄与した。

5 京都総合観光案内所の“おもてなし”の向上と民間設置観光案内所との連携

運營業務を受託する京都総合観光案内所「京なび」の平成 27 年度の相談者数は 85 万人を越え、とくに中国などアジア圏を中心に右肩上がりに増加している。案内所内の混雑緩和を図るため、来所者が窓口には並ばなくても、観光情報が入手できるよう、パンフレットコーナーの工夫を行うなど、おもてなしの心を持って、より満足度の高い案内に取り組んだ。

また、京都市内の民間観光案内所が参画する「京都市観光案内所ネットワーク会議」を京都市とともに開催し、京都総合観光案内所「京なび」を中心とした各案内所間の情報共有や課題解決に向けた意見交換などを行い、市内全体の観光案内機能向上を図った。

6 会員基盤の強化と会員情報の発信

外国人観光客の飛躍的な増加など、観光を取り巻く状況が刻々と変化するなか、ともに京都観光の発展を目指す新規会員を、積極的な勧募活動で獲得するとともに、ホームページに新たに会員向けページを設け、会員情報を発信することにより、会員間のネットワークづくりを促進した。

また、会員へ定期的に情報提供を呼びかけ、情報収集を図り、電話や観光案内所の窓口はもとより、協会発行の情報誌、インターネット、SNS などを活用し、よりタイムリーな会員情報をこれまで以上に強化し、発信した。

平成27年度事業報告について

I 観光都市京都の紹介宣伝事業 (公益目的事業会計)

1 JR委員会の活動

JRグループ各社と共同で観光客誘致を推進するためJR委員会を運営し、JR各社との連携による各種の効果的な誘致宣伝活動を実施した。

(1) JR西日本との共同事業「京都・大阪・神戸観光推進協議会」への参画

関西の観光地としてそれぞれの特徴を持った、京阪神三都市への観光客誘致を推進するため協議会に参画し、全国的に定着している“三都物語”キャンペーンについて、JR西日本と共同で誘致宣伝活動を行うとともに、金沢や九州で観光キャラバンを開催するなど、三都市周遊型のツアー企画の造成および販売活動を推進した。また、インバウンドにも取り組み、海外に向けた情報発信を積極的に行った。

- ① 首都圏・九州・中国・北陸エリアの旅行会社の造成・販売担当者を招き、三都現地説明会を実施
- ② 首都圏・中国・九州エリアを中心にマスコミ機関を招き、三都現地取材会を実施し、新聞・タウン情報誌等に記事を掲載
- ③ 三都観光映像素材の作成・配布
- ④ 三都及び冬季のイルミネーションイベント等のPRイベントを金沢で実施し、ステージでのPRやパンフレットの配布とあわせて、マスコミ及び旅行会社を訪問
- ⑤ 山陽・九州新幹線相互直通5周年記念イベントへ参画し、ステージでのPRやパンフレットの配布を実施
- ⑥ 新潟伊勢丹で開催された物産展「三都物語 ～京都・大阪・神戸めぐり～」において、三都の観光パンフレットを配布
- ⑦ 旅行会社等が販売する“三都物語”旅行商品の購入者に対するプレゼントキャンペーンの実施
- ⑧ 台湾で開催された「日本の観光・物産博」で、三都の観光パンフレットを配布
- ⑨ マレーシアの旅行博「MATTA」に出展し、三都の観光パンフレットを配布

(2) JR東海との共同事業「京都観光宣伝協議会」への参画

首都圏および東海道新幹線沿線地区から観光客誘致を図るため協議会に参画し、JR東海の宣伝媒体をはじめマスコミ媒体を活用した幅広い京都PRを展開するとともに、PRと連動した受入対策を推進した。

27年度に節目の年を迎えた40回記念「京の夏の旅」、50回記念「京の冬の旅」

キャンペーンと連動した首都圏イベントや首都圏百貨店での京都展等において「京の夏の旅」「京の冬の旅」「京の七夕」「京都・花灯路」事業をPRするため、舞妓を派遣するなど京都観光ブースを設置して積極的な京都観光PRに努めた。実施会場、実施日は以下のとおり。

○日本橋タカシマヤ	4月29日～5月6日
○六本木ヒルズアリーナ	6月19日～21日
○日本橋タカシマヤ	9月30日～10月5日
○横浜タカシマヤ	10月7日～12日
○キョウト・マルシェ in KITTE 丸の内	11月7日～8日
○東京コンベンションホール	12月19日～20日
○小田急百貨店新宿店本館	2月20日

(3) JR東日本「びゅう京都会」への参画

JR東日本の旅行業部門と京都の宿泊施設等を中心に組織された「びゅう京都会」に参画し、宿泊客の誘致対策などの検討や情報交換を行った。

(4) JR西日本との連携

JR西日本の主要駅等で「京の夏の旅」「京の冬の旅」「京の七夕」「京都・花灯路」事業をPRするため、舞妓を派遣するなど、京都観光ブースの設置とあわせて観光物産展を開催し、積極的な京都観光PRに努めた。実施会場、実施日は以下のとおり。

○JR和歌山駅・和歌山近鉄	5月23日～24日
○JR高槻駅・天王寺駅・三ノ宮駅・茨木駅	6月25日～26日
○ファジアーノ岡山スタジアム・岡山イオンモール	7月4日～5日
○JR金沢駅	7月30日
○JR大阪駅	10月10日
○JR金沢駅	11月12日～13日
○JR博多駅	12月2日
○JR高槻駅・三ノ宮駅	1月13日
○JR茨木駅・天王寺駅	1月15日
○JR大阪駅・京橋駅	2月17日
○熊本パルコ・JR鹿児島中央駅	2月19日～22日
○JR京都駅	2月27日

(5) JR九州との連携

JR九州と連携し、京都向けの旅行商品の設定をするなど、観光客誘致につながる取り組みを実施した。

(6) JRグループ6社共同キャンペーンの継続実施

昭和54年度より長年に渡り実施しているJRグループとの「京の冬の旅」キ

キャンペーンについて、JRグループ6社によるデスティネーションキャンペーンとして引き続き実施を要請し、冬季の観光振興を図る最重点事業として取り組んだ。

2 インターネット情報発信の充実

(1) インターネットでの観光・会員情報の発信充実

「京都市観光協会ホームページ」、多言語ページ「KYOTO-MAGOnoTE」を活用し、観光・会員情報の発信を行った。「KYOTO-MAGOnoTE」では、英語による三大祭の告知や観覧席発売情報、「京の冬の旅」キャンペーン、また英語情報誌「Kyoto Recommends」のPDF版などを新たに掲載し、一層の内容充実を図った。

「京都市観光協会ホームページ」

平成27年度 総ページビュー数 6,627,779件 (26年度 7,848,423件)
(25年度 5,458,798件)

「KYOTO-MAGOnoTE」

平成27年度 総ページビュー数 2,380,967件 (26年度 1,715,673件)

(2) イベント・年中行事情報のインターネット発信

旅行会社の企画に役立つよう引き続き6ヶ月先の情報を収集し、ホームページで発信した。

(3) ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の活用

世界的に利用者の多いfacebookを活用し、観光情報をはじめ、三大祭の開催の有無や開花情報など、タイムリーな情報の発信を行った。

facebook ページ『京都観光上ル下ル』 いいね! 14,640件

3 誘致宣伝印刷物の作成配布

(1) 月刊誌「京ごよみ」の編集発行

2ヶ月・3ヶ月先の情報を掲載した『京ごよみ』を京都市と共同で毎月4万部発行し、観光客はじめ会員、首都圏を中心に旅行会社、マスコミ機関等に配布して観光客の誘致を推進した。

(2) 外国人観光客向け情報誌の編集発行

26年度に創刊した英語情報誌「Kyoto Recommends」を継続発行し、外国人観光客にお勧めしたい京都のみどころや「食べる」「買う」「体験する」に特化した協会会員施設を紹介するなど、協会ならではの情報を発信した。

(3) 誘致ポスターの作成配布

京都四大大行事をはじめ、各種年中行事や観光イベントの誘致ポスターを作成し、JR各社の全国主要駅、私鉄各社の主要駅を中心に掲出するとともに、旅行会社、観光案内所および全国各地の京都展、物産展等へ適宜効果的に配布した。

(4月) 春のをどり・鴨川をどり・葵祭・大原女まつり

(6月) 祇園祭

(7月) 40回「京の夏の旅」・京都五山送り火

(9月) 時代祭

(12月) 50回「京の冬の旅」

(3月) 都をどり・平安神宮「桜」

* () 内は掲出月

4 京都観光推進協議会への参画

京都市ならびに関係業界で組織する京都観光推進協議会に参画し、修学旅行および一般観光客誘致対策に重点をおいた活動を推進した。

5 全国各地の「京都展」での誘致宣伝活動

首都圏はじめ全国各地の主要都市の百貨店で開催された「京都展」や「物産展」を共催、後援し、観光コーナーへのパンフレット配布や、ポスターを掲示して、京都観光のPRを実施した。

6 京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の受託

京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の運営を京都市から引き続き受託し、利用者のニーズに対応した的確な情報発信を行うとともに機能充実に努めた。

平成 27 年度 総ページビュー数 28,371,563 件 (26 年度 30,430,358 件)
(25 年度 23,984,871 件)

II 京都ブランドの向上を目指す京都観光振興事業

(公益目的事業会計)

1 「京の夏の旅」キャンペーンの実施

夏季観光客誘致事業として取り組んでいる「京の夏の旅」キャンペーンは、平成 27 年度に記念すべき 40 回を迎え、記念事業を実施するとともに、京の歴史文化に培

われた「伝統産業・文化」、旅の時間を有効に活用し、昼間とはひと味違った観光を楽しむ「朝観光・夜観光」、連綿と受け継がれてきた職人の技を楽しむ「京の食文化」という新たなテーマのもとに観光メニューを企画した。

また、前年度に引き続きイベントの早期計画および早期発表を継続するとともに、宣伝面においてもJR各社をはじめ、京阪、阪急、阪神、近鉄、南海の関西私鉄各社、京都市交通局など、関係機関との密接な連携のもと、誘致宣伝活動の強化や旅行商品化の促進に努めた。

(1) 40回「京の夏の旅」記念事業

JR東海、京都市、京都市観光協会3社の連携により、東京地区において、「京の夏の旅」40回記念特別イベントを開催し、「京の夏の旅」等のPRを行った。

名称 “ほんまもん” だけ3DAYS
開催日 6月19日～21日
会場 六本木ヒルズアリーナ
内容 プレス向け及び一般向けオープニング、大船鉾の組立・展示、五花街芸妓・舞妓40人による舞の披露、舞台及び京都ブースにおける京都のPR、飲食・物販等

来場者数 約16,000人

プレス向けオープニング出席者 36社

(2) 40回記念「京の夏の旅」文化財特別公開

普段見ることのできない社寺や施設を個人・団体でも見学できるよう7か所で実施した。拝観・見学者数の合計は、過去最高の151,555人で、対前年度比121%、1日当たりの平均拝観・見学者数では対前年度比110%となった。

公開期間 7月11日～9月30日

公開箇所 上賀茂神社 本殿・権殿／下鴨神社 本殿・大炊殿・神服殿／
南禅寺 大寧軒／有鄰館 日本館／宝厳院 本堂・書院／
旧嵯峨御所大覚寺門跡 秩父宮御殿／生谷家住宅

拝観・見学者数 151,555人

(3) 40回記念「京の夏の旅」定期観光バス特別コース

7月から9月末までの期間、「京の名庭と建築の美をたずねて」、「～式年遷宮記念～世界遺産のお社と京の町家をたずねて」、夜の特別コース「宮廷鶴飼と夕景の嵐山」のバスコースを設定し、運行した。3コース合計の乗車人数は8,712人、対前年度比105%となった。各コースの実績は以下のとおり。

① 「京の名庭と建築の美をたずねて」

運行期間 7月11日～9月30日

対象箇所 南禅寺 大寧軒／宝厳院 本堂・書院／旧嵯峨御所大覚寺門跡
秩父宮御殿／嵐山散策／高雄もみぢ家（昼食）

乗車人数 3,644 人

② 「～式年遷宮記念～世界遺産のお社と京の町家をたずねて」

運行期間 7月11日～9月30日

対象箇所 上賀茂神社 本殿・権殿／下鴨神社 本殿・大炊殿・神服殿／
生谷家住宅／俵屋吉富（茶菓）／六盛（昼食）

乗車人数 3,603 人

③ 「宮廷鶺鴒と夕景の嵐山」

運行期間 7月1日～9月23日

対象箇所 嵐山宮廷鶺鴒（鶺鴒匠による鶺鴒の説明付）／法輪寺と夕景の嵐
山散策／渡月亭（夕食）

乗車人数 1,465 人

(4) 京都「千年の心得」（実績等詳細は19～20ページに掲載）

(5) 京の食文化キャンペーン「食遊菜都2015・夏」

（実績等詳細は20ページに掲載）

(6) 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」（実績等詳細は21ページに掲載）

(7) 京の夏の旅キャンペーンイベント

観光客のニーズに応えるため、夏ならではの茶会をはじめ、参加体験型のイ
ベントを実施した。

① 京都・大原探訪

大原の夏の魅力を散策しながら体験する個人観光プラン

開催期間 7月4日～9月27日の土・日・祝

参加人数 139 人

② 高台寺「夜の観月茶会」

開催期間 9月11日～27日の金・土・日

参加人数 559 人

③ 「京の七夕」事業（実績等詳細は25ページに掲載）

④ ～式年遷宮記念～世界遺産下鴨神社特別参拝と神職さんに神社を学ぶ

開催期間 8月15日、16日

参加人数 82 人

⑤ 藤井斉成会「有鄰館」の珠玉の東洋美術鑑賞と特別講座

開催期間 9月6日、20日

参加人数 114 人

(8) “都の賑い”事業の実施

京都花街組合連合会、京都伝統伎芸振興財団主催の6月恒例のイベントとして
定着した“都の賑い”「京都五花街合同公演」の誘致宣伝に努めた。

開催日 6月27日・28日

(9) 誘致宣伝展開

① 誘致宣伝ポスター、パンフレットの作成、掲出配布

「京の夏の旅」ポスター、パンフレットを作成し、全国のJR主要駅や京阪、阪急、阪神、近鉄、南海の関西私鉄各社、京都市交通局、主要旅行会社等へ掲出配布した。その他、JR各社、大手旅行会社の協力を得て、夏の京都旅行商品パンフレットにキャンペーンイベントを掲載した。

《ポスター》

○駅貼 (B1・6種)	2,730 枚
○駅貼 (B2・4種)	800 枚
○車内吊り (B3・2種)	14,400 枚

《パンフレット》

○京の夏の旅 イベントガイドブック	40 万部
○京の夏の旅 ダイジェスト版リーフレット (3種)	7 万部
○定期観光バス 春夏号	495,000 部

《その他》

○京都市営地下鉄車内横枠広告	270 枚
○京都市営地下鉄指詰ステッカー	560 枚

② マスコミ媒体等による誘致宣伝

全国主要地区のテレビ・新聞・雑誌等のマスコミに対して、取材協力の要請を行うとともに、「京の夏の旅」の試乗取材会を開催する等、キャンペーンイベントの記事掲載のための誘致宣伝に努めた。取材報道等の実績は以下のとおり。

《テレビ・ラジオ》

- テレビ大阪「おとな旅 あるき旅」
- 読売テレビ放送「クチコミ新発見！旅ぷら」
- BS日本テレビ放送「ぶらぶら美術・博物館」
- NHK大阪放送局「関西ラジオワイド 市町村だより」

《新聞》

京都新聞／朝日新聞／読売新聞／毎日新聞／日本経済新聞／大阪日日新聞／山陽新聞／北日本新聞／交通新聞／週刊観光経済新聞／四國新聞／神奈川新聞／北羽新聞／静岡新聞／岩手日日新聞／徳島新聞／陸奥新報／西日本新聞／東京新聞／九州スポーツ／東京中日スポーツ

《雑誌》

「関西ウォーカー」／「ノジュール」／「ひととき」 ほか

《その他》

当協会ホームページをはじめ、京都観光 Navi、月刊観光情報誌「京ごよみ」、

京都市広報紙、私鉄情報誌などでの情報掲載等による情報発信を実施した。

③ J R各社・旅行会社への宣伝販売促進要請

J R各社および主要旅行会社に対して、宣伝販売促進を依頼するとともに、定期観光バスについては、J Rグループの端末による販売を行った。

④ 試乗取材会等の開催

○ 「京の夏の旅」オープニングセレモニー

「京の夏の旅」特別公開対象箇所である下鴨神社において、十二単の着付見学、王朝舞の披露など、オープニングイベントを開催し、マスコミ各社への広報並びに関係機関への事業協力の要請を行った。

開催日 7月11日

会場 下鴨神社

○ 「京の夏の旅」定期観光バス特別コース試乗取材会

主要都市の新聞社等マスコミ各社、J Rや関西私鉄各社等関係機関を招き、定期観光バス特別コースの試乗取材会を実施した。

開催日 7月10日

出席者数 マスコミ、J R、関西私鉄、旅行会社、ホテル、旅館など約120人

2 「京の冬の旅」キャンペーンの実施

冬季観光客誘致事業として取り組んでいる「京の冬の旅」キャンペーンは、平成27年度に記念すべき50回を迎え、記念事業を実施するとともに、急速に増え続ける外国人観光客の受入対策等を実施した。

平成28年が臨濟宗を開いた臨濟禅師の1150年遠諱にあたることにちなみ、「禅ZENー ～禅寺の美 日本文化の美～」をテーマとして、禅宗寺院を中心に、16か所の非公開文化財特別公開を実施した。また、定期観光バス特別コースとして、恒例の4コースのほかに、新設コースも運行した。

そのほか、新たなテーマである「伝統産業・文化」「朝観光・夜観光」「京の食文化」をもとに、観光客の幅広いニーズに応えるべく、京の冬ならではの多彩なイベントを企画設定し、J Rグループ6社共同によるデスティネーションキャンペーンとして全国規模での誘致宣伝、販売活動を行った。

宣伝面においては、J Rグループ6社とあわせ、関西私鉄各社や京都市交通局にもさらなる宣伝協力を得て、ポスター掲出など積極的な宣伝強化を図った。

(1) 50回「京の冬の旅」記念事業

「京の冬の旅」が記念すべき50回を迎えたことを踏まえ、この節目の年を盛

り上げるべく、J R 東海、J R 西日本と連携した事業や記念事業を実施した。

① J R 東海との連携事業

J R 東海との連携により、東京にて、「京の冬の旅」50 回記念特別イベントを開催し、「京の冬の旅」等の P R を行った。

開催日 12 月 19 日・20 日

会 場 東京コンベンションホール

内 容 舞妓による舞の披露や投扇興体験、住職による法話や座禅体験、若手工芸士による伝統工芸実演、舞台及び京都ブースにおける京都の P R、飲食・物販等

② J R 西日本との連携事業

J R 西日本との連携により、「トワイライトエクスプレス 京の冬の旅 5 0 回記念号」を運行し、京都への誘客とメディア露出を図った。

運行日 1 月 18 日発—19 日 18 時京都着

内 容 トワイライトエクスプレス車内で舞妓との歓談、和菓子製作実演見学・抹茶と和菓子賞味、禅寺僧侶による法話でおもてなしをするとともに、京都駅で到着歓迎セレモニーを開催

③ 京の冬の旅 50 回記念／京都料理芽生会 60 周年記念特別事業

「美しの饗宴～老舗料亭の若主人たちによる夢の饗宴～」

各回 4 店の老舗料亭の若主人たちによって生み出されたひとつの献立を、美しい庭園と共に楽しんでいただくイベントを実施した。

開催期間 1 月 31 日、2 月 7 日、2 月 14 日

場 所 東本願寺 涉成園、東福寺

料 理 嵐山熊彦、いづう、井傳、木乃婦、ぎをん萬養軒、渡月亭、とりよね、瓢亭、平等院表参道 竹林、萬重、美濃吉本店 竹茂楼、料理旅館 鶴清

参加人数 240 名

④ 「おおきにキャンペーン」の実施

これまでの愛顧に対する感謝の意を込めて、関連イベント参加者等を対象とした、伝統産業品などのプレゼントキャンペーンを実施した。

実施方法：専用はがきによる応募制とし、50 回記念にちなんで抽選で延べ 500 名の当選者を選定した。

応 募 数：8,840 通

⑤ 外国人観光客に向けた P R

非公開文化財特別公開寺院に英語対応可能なガイドを配置するとともに、各箇所での英語での説明文（由緒書）を作成して配布し、その宣伝告知のための英語誘客用チラシも案内窓口や市内宿泊施設にて配布した。

また、MAGOnoTE、KYOTO TRAVEL GUIDE での発信を行った。

ガイド配置寺院 : 東寺五重塔
期間 : 1月21日～2月21日
案内人数 : 654人
英語説明文 : 32,000枚(16ヶ所)
英語の誘客チラシ : 30,000枚

⑥ 「京の冬の旅」50年感謝の集いの開催

「京の冬の旅」へのこれまでの協力に対する感謝の意を込めて、「京の冬の旅」にご協力いただいた個人・団体への感謝状を贈呈するとともに、デスティネーションキャンペーンとして支えていただいたJRグループ各社へ特別感謝状の贈呈を行った。また、懇親会では、茂山千五郎家十三世茂山千五郎氏・島田洋海氏による狂言「鬼瓦」、『ギア-GEAR-』のジャグラーによるパフォーマンス披露などを行った。

開催日 : 1月19日
会場 : リーガロイヤルホテル京都
感謝状贈呈 : 490件
特別感謝状贈呈 : 6件

⑦ その他

非公開文化財特別公開箇所の増、観光客に対する温泉の魅力のPRを図るため、温泉旅館や日帰り温泉施設の紹介、首都圏・関西圏でのキャラバン等のPRの充実を行った。

(2) 50回記念「京の冬の旅」非公開文化財特別公開

「禅-ZEN- ～禅寺の美 日本文化の美～」をテーマに、普段見ることのできない建築、庭園、襖絵など、16か所の文化財を特別公開した。拝観者数の合計は、348,705人で、対前年度比99%、1日当たりの平均拝観者数対前年度比96%となった。

公開期間 1月9日～3月18日
公開箇所 建仁寺開山堂／六道珍皇寺／東福寺三門／東福寺即宗院／南禅寺天授庵／相国寺法堂・方丈／相国寺養源院【京の冬の旅初公開】／相国寺長得院【京の冬の旅初公開】／大徳寺本坊／大徳寺芳春院／真如寺【京の冬の旅初公開】／妙心寺玉鳳院／妙心寺霊雲院／妙心寺天球院／東寺五重塔／東寺灌頂院 (16か所)

拝観者数 348,705人

(3) 50回記念「京の冬の旅」京都定期観光バス特別コース

1月から3月の期間、「うるわし」「みやび」「やすらぎ」「あじわい」の定番の4コース、早回りの「午前・午後の半日コース」に加え、今年度新たに、坐禅や

開門前の寺院貸切拝観を取り入れた「朝のコース」や学びの要素が詰まった「大人の修学旅行コース」を設定し、観光客の幅広いニーズに対応した特別コースを運行した。特別コース合計の乗車人数は12,402人で、対前年度比80%となった。各コースの実績は以下のとおり。

- ① うるわしコース「京の本山 国宝・重文をたずねて」
運行期間 1月9日～3月18日
対象箇所 大徳寺 本坊／相国寺 法堂・方丈／東福寺 三門 又は
東寺 五重塔／鶴屋吉信（茶菓）／泉仙（昼食）
乗車人数 2,785人
- ② みやびコース「京の禅寺 襖絵の美をたずねて」
運行期間 1月9日～3月18日
対象箇所 建仁寺 開山堂／相国寺 長得院／妙心寺 天球院／
妙心寺 玉鳳院／阿じろ（昼食）
乗車人数 2,747人
- ③ やすらぎコース「京の禅寺 名宝と庭園をたずねて」
運行期間 1月9日～3月18日
対象箇所 大徳寺 芳春院／相国寺 養源院／東福寺 即宗院 又は
妙心寺 霊雲院／六道珍皇寺／天岳（昼食）
乗車人数 2,794人
- ④ あじわいコース「京の名物 老舗の味と世界遺産をたずねて」
運行期間 1月9日～3月18日（2/11を除く毎週木曜と2/21は運休）
対象箇所 瓢亭 別館（昼食）／下鴨神社と小豆粥／
西尾八ツ橋の里／錦市場
乗車人数 2,520人
- ⑤ 朝のコース 「朝の禅寺特別拝観 座禅と朝ごはん」
運行期間 3月5日、6日、12日、13日
対象箇所 大徳寺 大慈院／大徳寺 本坊／相国寺 法堂・方丈／
泉仙（朝食）
乗車人数 147人
- ⑥ 大人の修学旅行コース 「おとなの京都 学びの旅」
運行期間 1月22日、23日、29日、30日
対象箇所 河村能舞台／建仁寺 霊源院／下鴨神社／俵屋吉富（茶菓）
祇園さゝ木（昼食）
乗車人数 134人
- ⑦ 午前の半日コース「特別公開 東寺と相国寺」
運行期間 2月1日～29日

- 対象箇所 東寺 五重塔／相国寺 法堂・方丈
乗車人数 328人
- ⑧ 午後の半日コース「京の禅寺早回り～真如寺・等持院・龍安寺～」
運行期間 2月1日～29日
対象箇所 真如寺／龍安寺／等持院
乗車人数 348人
- ⑨ 京のたしなみコース「着物でお抹茶&北野天満宮の梅」
運行期間 2月26日～3月6日の金・土・休日
対象箇所 夢館／有斐斎弘道館／北野天満宮／花水庵（昼食）
乗車人数 18人
- ⑩ 「～春の訪れを待つ～京の節分・四方参り」
運行期間 2月3日
対象箇所 吉田神社節分祭／八坂神社／壬生寺／北野天満宮／
花水庵（昼食）
乗車人数 46人
- ⑪ 「～特別な京都観光～松花堂弁当発祥の地と秘仏をたずねる」
運行期間 2月6日～28日の土・日
対象箇所 大御堂観音寺／石清水八幡宮／寿宝寺／
松花堂庭園・吉兆（昼食）
乗車人数 189人
- ⑫ 「～特別な京都観光～自分磨き～IN京都～パワー充電間違いなし！」
運行期間 2月1日～29日の月・金
対象箇所 安井金比羅宮／今宮神社／下鴨神社／下鴨茶寮（昼食）
乗車人数 153人
- ⑬ 特別コース「京のお節句とお雛さま」
運行期間 2月27日～3月3日、3月10日～18日の月曜を除く毎日
対象箇所 宝鏡寺／桂甫作 安藤人形店／京都国立博物館／
俵屋吉富（茶菓）／西陣魚新（昼食）
乗車人数 193人

(4) 京の冬の旅スタンプラリー

特別公開箇所を3か所巡るとお茶とお菓子で一服できるスタンプラリーを実施した。

参加人数 25,013人

(5) 京都「千年の心得」（実績等詳細は19～20ページに掲載）

(6) 京の冬の食文化キャンペーン「食遊菜都2016・冬」

（実績等詳細は20ページに掲載）

(7) 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」(実績等詳細は 21 ページに掲載)

(8) 京の冬の旅キャンペーンイベント

① 高台寺「夜咄」(夜のお茶会)

名利高台寺で冬の夜のひとときを楽しむお茶会

開催期間 1月15日～3月6日の金・土・日

参加人数 1,291人

② 西陣・千両ヶ辻ウォーキング

開催日 1月16日・23日、2月13日・16日・20日・23日・27日、
3月5日・11日

参加人数 154人

③ 祇園さゝ木 佐々木浩氏による料理教室と旧花街島原散策

開催日 2月20日、3月20日

参加人数 64人

④ 第37回「京都名流いけばな展」

いけばな圏<京都>17流派により入洛客を歓迎するいけばな展を実施した。

開催期間 1月26日～3月6日

会場 JR京都駅 新幹線コンコース

⑤ 京都・花灯路事業(実績等詳細は 26 ページに掲載)

⑥ その他、キャンペーン協賛の市内観光施設での体験イベント、宿泊施設でのプレゼント等を実施。

(9) 「京の冬の旅」キャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催

JRグループ6社および全国の主要旅行会社の商品造成担当者、宣伝担当者を招き、京都デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議を開催し、旅行商品の設定および宣伝販売促進を要請した。

開催日 平成27年3月9日・10日

会場 ホテルグランヴィア京都

出席者 約400名

なお、平成28年度の「京の冬の旅」キャンペーンについても平成28年3月14日・15日に全国宣伝販売促進会議を開催した。

(10) 京都デスティネーションキャンペーン実行委員会による活動

京都市と共同で京都デスティネーションキャンペーン実行委員会を組織し、テレビCMや誘致ポスターの制作等、京の冬の旅キャンペーンのPRを促進した。

(11) 誘致宣伝展開

① 誘致宣伝ポスター、パンフレットの作成・掲出配布

「京の冬の旅」キャンペーンポスター、パンフレットを作成し、全国のJR主要駅をはじめ、京阪、阪急、近鉄、南海、阪神の関西私鉄各社、京都市交通

局、主要旅行会社等で掲出配布した。昨年に引き続き、京都・大阪・神戸の三都市交通局の協力のもと、三都市の地下鉄の主要駅に「京の冬の旅」スタンプラリー用紙の設置や、京都市営地下鉄のドア指詰めステッカーによる広告の掲出など宣伝強化を図った。

その他、JR各社、大手旅行会社の協力を得て、冬の京都旅行商品パンフレットにキャンペーンイベントを掲載した。

《地元制作ポスター》

○JR駅貼（B1・5枚組）	1,200組
○JR・私鉄・京都市及び三都市交通局駅貼（B1・6種）	2,850枚
○私鉄駅貼（B2・4種）	800枚
○JR・三都市交通局・京阪バス（B3・3種）	21,300枚
○地下鉄横枠広告	540枚
○地下鉄指詰めステッカー	560枚

《JRグループ制作ポスター》

○JR駅貼（B0・4種）	7,516枚
○JR車内吊り（B3・4種）	64,580枚
○JR車内額貼（B3×4サイズ・3種）	25,890枚
○JR車内額貼（B3×2サイズ・3種）	23,640枚
○JR車内ドア上（変形・2種）	11,000枚

《パンフレット》

○「京の冬の旅」イベントガイドブック	1,000,000部
○「京の冬の旅」ダイジェスト版リーフレット	45,000部
○「京の冬の旅」スタンプラリー	178,000部
○京都定期観光バス 秋冬号	490,000部
○非公開文化財特別公開ガイドブック	20,000部

《その他》

○京都マラソン 大会公式プログラムへの広告出稿	21,000部
-------------------------	---------

② マスコミ媒体等による誘致宣伝

全国主要地区のテレビ・新聞・雑誌等のマスコミに対して、取材協力の要請を行うとともに、「京の冬の旅」のオープニングイベントや試乗取材会を開催する等、キャンペーンイベントの記事掲載のための誘致宣伝に努めた。取材報道等の実績は以下のとおり。

《テレビ・ラジオ》

- テレビ大阪「おとな旅 あるき旅」
- 関西テレビ「ゆうがたLIVEワンダー」
- BS日テレ「ぶらぶら美術博物館」

○NHKラジオ大阪「関西ラジオワイド・市町村だより」 ほか

《新聞》

京都新聞／朝日新聞／読売新聞／北日本新聞／静岡新聞／中日新聞／
西日本新聞／観光経済新聞／日本経済新聞／日刊ゲンダイ／日本海新聞／
交通新聞 ほか

《雑誌》

歳時紀行社「歳時紀行」／エディットプラス「詳細地図で歩きたい町京都」
／ハースト婦人画報社「婦人画報」／白川書院「月刊京都」／JTB パブリ
ッシング「ノジュール」／文藝春秋「CREA」／ワード「京都旅のお得技
ベストセレクション」／ホットペッパー「ホットペッパー京都版」／リーフ
パブリケーション「Leaf」ほか

《その他》

○旅行雑誌「別冊旅の手帖」京の冬の旅号発行（6万部）
○テレビ「遠くへ行きたい」でのCM放映
○JR時刻表（12月～3月）でキャンペーンイベントのPR
○JRジパング倶楽部会員誌で特集記事掲載
○当協会ホームページをはじめ、京都観光 Navi、月刊観光情報誌「京ごよ
み」、京都市広報紙、私鉄情報誌などでの情報掲載等による情報発信を実施
した。

③ JR各社・旅行会社への宣伝販売促進要請

JR各社および主要旅行会社に対して、宣伝販売促進を依頼するとともに、
定期観光バスについては、JRグループの端末による販売を行った。

④ 試乗取材会等の開催

○ 京都デスティネーションキャンペーン「京の冬の旅」オープニングイベ
ント

「京の冬の旅」キャンペーンの宣伝並びにJRや関西私鉄各社等関係機関
とのさらなる連携強化に向け、京都デスティネーションキャンペーン「京の
冬の旅」のオープニングイベントをJR西日本と京都市とともに実施した。

「京の冬の旅」非公開文化財特別公開対象箇所の一つである相国寺において、
オープニング式典を行い、キャンペーンの幕開けを祝して舞妓による舞を奉
納、マスコミ各社への広報並びに関係機関への事業協力の要請を行った。

開催日 1月9日

会場 相国寺

○ 「京の冬の旅」定期観光バス特別コース試乗取材会の開催

主要都市の新聞社等マスコミ各社をはじめ、JRや関西私鉄各社等関係機
関を招き、定期観光バス特別コースの試乗取材会を実施した。

開催日 1月8日

出席者数 マスコミ、JR、関西私鉄、旅行会社、ホテル、旅館など約
120人

○ 関係機関との連携事業

「京の冬の旅」キャンペーンをPRするため、京都市交通局と連携し、舞妓による観光パンフレットの配布など、冬の京都への観光誘致宣伝に努めた。

*京都市交通局との連携事業

「Kotochika クリスマスイベント」において、「京の冬の旅」PRを行った。

開催日 12月23日

会場 京都市営地下鉄京都駅コトチカ広場

3 京都の奥深い魅力に触れる 京都「千年の心得」事業の実施

平成21年度より実施している京都「千年の心得」事業では、新たなテーマ「京の伝統産業・文化」「京の朝観光・夜観光」「京の食文化」に重点を置いた観光プランの企画や旬の観光素材を活用した通年型の情報発信など、京都ならではの奥深い上質な魅力に出会うことのできる厳選された観光プランを京都市と共同で企画し、実施した。また、JRや旅行会社各社で企画したイベントもあわせて誘致宣伝に努めた。

(1) 京都「千年の心得」 7月～9月実施	計 641人
① 下鴨茶寮の特別懐石と京都五山送り火鑑賞	36人
② 琳派400年記念 芸艸堂で手摺木版画の世界に触れる	17人
③ 早起きは三文の得！国指定名勝 東福寺本坊庭園 早朝特別拝観	121人
④ 冷茶で涼やかな夏を！祇園祭特別お茶講座と茶フレンチの昼食	42人
⑤ 大覚寺不動明王「ご法縁結び式」	87人
⑥ 京都の禅寺で坐る 夜坐体験	233人
⑥ 旧嵯峨御所大覚寺門跡で平安の香り体験～お香（薫物）に親しむ～	105人
(2) 京都「千年の心得」 1月～3月実施	計 604人
① 早起きは三文の得！八坂の塔 法観寺早朝特別拝観	65人
② 早起きは三文の得！圓徳院で砂紋引き体験と朝粥の朝食	60人
③ 嵐山・時雨殿で平安装束を着て、百人一首カルタを学ぶ	35人
④ 料理研究家・大原千鶴が語る「京のおばんざい」	90人
⑤ 佐々木酒造の酒蔵見学と新酒を楽しむ	35人
⑥ 旧曼舟邸でのお茶会体験と嵐山よしむらの蕎麦懐石を味わう	79人
⑦ 大覚寺不動明王「ご法縁結び式」	81人

- ⑧ 旧嵯峨御所大本山大覚寺で平安の香り体験～お香（薫物）に親しむ～

119人

- ⑨ 京の冬の旅 50 回記念 淡交社特別企画 京の花街 ぎおん弥生の茶会 40人

(3) 京都・文化体験ガイド「京のたしなみ帖」ホームページの運営

京都「千年の心得」の一環として、京都・文化体験ガイド「京のたしなみ帖」ホームページによる工芸制作や着付け体験、寺社体験などのプランを紹介した。

○PCサイト <http://www.tashinami.com>

○携帯サイト <http://www.tashinami.com/mb/>

4 「京の食文化」をテーマとした観光キャンペーン「食遊菜都」の実施

観光の大きな楽しみの一つである“食”をテーマにした京の食文化キャンペーンを引き続き実施、「京の夏の旅」「京の冬の旅」と連動して、京料理をはじめとした京の味覚と京都スタイルの「食」の楽しみ方を発信する特別プランを企画実施し、京都の“食”のPRと観光客の誘致推進に努めた。

(1) 食遊菜都 2015・夏 7月～9月実施 計 506人

- | | |
|-------------------------------|------|
| ① 宝厳院 文化財特別公開と嵐山屋形船そして京料理 | 36人 |
| ② 知恩院特別拝観プラン「知恩院と家康のヒストリア」 | 20人 |
| ③ 観覧席で見る祇園祭（前祭・後祭）と京料理 | 121人 |
| ④ くろちく天正館でいただくおぼんざい懐石と祇園祭宵山見学 | 7人 |
| ⑤ 元お茶屋「津田楼」で舞妓といただくランチ | 39人 |
| ⑥ 鴨川「納涼床」と「舞妓の舞と撮影会」 | 10人 |
| ⑦ 京の五花街お茶屋遊び～花街文化と仕出料理～ | 66人 |
| ⑧ 京町家で学ぶおぼんざい作り体験 | 4人 |
| ⑨ 食遊懐石（はり清／松山閣松山） | 203人 |

(2) 食遊菜都 2016・冬 1月～3月実施 計 715人

- | | |
|----------------------------|------|
| ① 妙心寺 非公開文化財特別公開と京の野菜御膳 | 261人 |
| ② 醍醐寺「五大力尊仁王会」前行参座と醐山料理 | 30人 |
| ③ 純和風料理旅館き乃ゑの京料理と正伝永源院特別拝観 | 0人 |
| ④ 美濃吉本店竹茂楼で味わう京懐石と和食マナー講座 | 61人 |
| ⑤ 嵐山屋形船でほっこり地酒と湯豆腐 | 18人 |
| ⑥ 京の五花街お茶屋遊び | 79人 |
| ⑦ 花街宮川町 大人の夜会 | 11人 |
| ⑧ 元お茶屋「津田楼」でいただく舞妓とランチ | 26人 |
| ⑨ 食遊懐石（山ばな平八茶屋／菊水） | 229人 |

5 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」事業の実施

平成 23 年度より取り組んでいる京都の伝統文化、伝統工芸の魅力を体感するキャンペーンとして京都市の協力のもと、J R 西日本と共同で実施し、さらなる観光客の誘致推進に努めた。

(1) 京のたしなみ	7月～9月実施	計 139 人
①	宮井ふろしき・袱紗ギャラリー見学とふろしき包み方教室	43 人
②	世界に一つだけ、自分でつくる京象嵌	57 人
③	自分だけの木の食器セットづくり	18 人
④	自分だけの釉薬づくり&絵付け体験	21 人
(2) 京のたしなみ	1月～3月実施	計 199 人
①	和紙の魅力に触れる、小物入れとお皿づくり	77 人
②	宮井ふろしき・袱紗ギャラリー見学とふろしき包み方教室	33 人
③	京都を感じるアクセサリ作り	46 人
④	自分だけの木の食器セットづくり	43 人

6 特別企画事業の実施

春季・秋季の観光客誘致受入事業として、「金戒光明寺」「宝鏡寺」「霊鑑寺」の特別公開を実施した。

実施に当たっては、阪急電鉄と連携したポスターを作成するとともに、秋季は特別公開のポスターを作成し、J R 西日本、京阪、阪急、近鉄、阪神の関西私鉄各社で掲出した。

公開箇所	金戒光明寺／宝鏡寺／霊鑑寺		
公開期間	春季	霊鑑寺	3月28日～4月12日
	秋季	金戒光明寺	11月1日～12月6日
		宝鏡寺	11月1日～30日
		霊鑑寺	11月21日～12月6日
		金戒光明寺ライトアップ	11月14日～29日

春季・秋季 合計拝観者数 71,389 人

7 修学旅行受入対策の推進

(1) 修学旅行相談業務

修学旅行相談所を設置し、学校関係者の下見等の利便に供するための総合案内

窓口として、資料提供や相談業務を行った。

平成 27 年度利用件数 527 件 (平成 26 年度 708 件)

(2) 修学旅行パスポート事業の推進

京都を挙げての修学旅行受入対策の一環として、平成 10 年より実施している修学旅行パスポート事業について、会員の協力を得て、優待内容の充実を図るとともに、誘致受入対策として、全国の学校関係者、旅行会社等に P R し、活用を促進した。

① 優待協賛施設の充実

社寺・観光施設・食事・買物施設などへ協力要請を行い、パスポート協賛施設の充実を図った。

平成 27 年度協賛施設数 346 施設 (平成 26 年度 347 施設)

② インターネットによる情報発信

パスポート事業の内容をインターネットで発信するとともに、京都観光 Navi、きょうと修学旅行ナビや当協会ホームページなどのリンクにより、修学旅行に役立つ観光情報を発信した。

8 国際観光客誘致受入の強化

(1) 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローのインバウンド事業への参画

京都文化交流コンベンションビューローが行う京都市海外情報発信・収集拠点との連携や、国内外旅行博出展など外国人観光客の誘致に協力した。また、時代祭では、通訳案内士による英語解説付き観覧席券のインターネット販売を共同で実施し、外国人観光客への利便性の向上を図った。

(2) 海外有力プレス関係者等招請京都委員会への参画

京都府、京都市、京都府観光連盟とともに海外有力プレス関係者等招請京都委員会に参画し、世界各国の有力プレス関係者等を対象にした招請事業を実施した。

(3) 多言語観光情報誌の発行支援と配布

外国人観光客の利便を図り、誘致宣伝に努めるため、英文の月刊情報誌「キョートビジターズガイド」(1 万 6 千部)、中国語版(簡体字・繁体字)・ハングル版の季刊情報誌「きょん」(各 5 千部)の発行を支援し、京都総合観光案内所などで配布した。

(4) 観光地図「KYOTO CITY MAP」の配布

会員より協賛広告を受け、外国人観光客向けに作成している英語版、中国語版(簡体字版・繁体字版)・ハングル版の観光地図を配布した。

(5) 音声観光ガイドの配信

iPhoneやiPod等を活用した音声観光ガイド英語10コースを引き続き配信し、音声・地図ともにどこからでも事前に入手できるようにした。

(6) 多言語ホームページ「KYOTO-MAGOnoTE」の運営

英語・フランス語・中国語（簡体字と繁体字）・ハンゲルに日本語を加えた6言語のホームページ「KYOTO-MAGOnoTE」を運営した。英語による三大祭の告知や観覧席発売情報、京の冬の旅キャンペーン、また英語情報誌「Kyoto Recommends」のPDF版などを新たに掲載し、一層の内容充実を図ったことにより、本年度も大きくアクセス数を伸ばした。

平成27年度 総ページビュー数 2,380,967件 (26年度 1,715,673件)

(7) ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用

facebook ページにて、最新の京都情報のほか、ウォーキングツアーを楽しむ外国人観光客の姿を発信した。

facebook ページ 「Like!Kyoto」 いいね!1,474件

「Walking Tour in Kyoto」 いいね!1,398件

(8) 動画情報の発信

YouTube を活用し、当協会会員の施設情報、年中行事、季節の情報など「いまのKYOTO」を伝える「Lively Kyoto」事業として以下の動画を作成、公開した。

「北野天満宮 青もみじ」「葵祭」「壬生狂言」「京都SKYバス」

「サムライ剣舞」「京都の温泉」「廬山寺節分」「東映太秦映画村」

計8本

(9) 京都の旅の提案

①「京料理と舞妓の夕べ」の開催

料理旅館において、京料理と舞妓を外国人観光客が手軽に体験できるイベント「京料理と舞妓の夕べ」を開催した。

実施回数 106回 2,077人 (26年度 99回実施 1,632人)

(25年度 84回実施 1,408人)

②外国人観光客向けウォーキングツアーの実施

外国人観光客に人気の「祇園ウォーキングツアー」、「嵯峨野ウォーキングツアー」を継続実施した。(事業実績は 25 ページに掲載)

③「Kyoto Recommends」の発行

外国人観光客にお勧めしたいエリアの紹介や、「食べる」「買う」「体験する」に特化した会員の施設紹介を掲載した英文の季刊情報誌「Kyoto Recommends」(3万部)を継続して発行した。

(10) 民間観光案内所との連携

京都市内の観光案内所運営団体が参画する「京都市観光案内所ネットワーク会議」を京都市とともに開催した。市内全体の観光案内機能向上を目指して、京都総合観光案内所「京なび」を中心とした各案内所間の情報共有や課題解決に向けた意見交換などを行った。

9 MICE 戦略の取り組み

京都で開催される MICE において、歓迎とおもてなしの観点から、京都文化交流コンベンションビューロー等と共同で、開催支援プログラムに参画し、京都開催の魅力を向上させた。

10 まちなか観光の企画推進 — 「歩くほどに奥深い京都」

「歩くほどに奥深い京都」をキャッチフレーズに、公共交通機関の活用を取り入れた歩く観光を提唱し、交通渋滞の緩和はもとより、観光客の足をまちなかや商店街へと向け、美しい町並みや買い物、体験や人々との交流を楽しむ「面の観光」へとする仕掛けの強化を図った。

(1) 音声観光ガイドの配信

スマートフォンや iPod 等を活用し、魅力ある散策ルートを設定し、ガイドブックには載らない歴史や由緒を紹介する音声観光ガイドを、日本語 26 コース、英語 10 コースを配信した。

(2) 京都エリアウォーク「京都ぐるり」の実施

公共交通の利用促進を図り、出発地点を地下鉄の駅とし、市民ガイドが説明をするウォーキングツアーを実施し、地域の隠れた魅力とオリジナリティを高める京都エリアウォーク「京都ぐるり」を 26 年度に続き実施した。

コース

・鳥羽離宮ゆかりの史跡をぐるり（竹田駅）	4 回	51 人
・深草の歴史と史跡ぐるり（くいな橋駅）	4 回	64 人
・平安京の玄関と弘法大師ゆかりの地ぐるり（九条駅）	4 回	61 人
・新選組ゆかりの地と本願寺周辺をぐるり（京都駅）	4 回	62 人
・上賀茂神社と社家町ぐるり（北大路駅）	4 回	64 人
・太秦の史跡ぐるり（太秦天神川駅）	4 回	72 人
・平安宮と源氏物語ゆかりの地ぐるり（二条駅）	4 回	65 人
・二条城周辺の史跡をぐるり（二条城前駅）	4 回	66 人
・高瀬川と坂本龍馬ゆかりの史跡ぐるり（三条京阪駅）	4 回	72 人

・岡崎と疏水関連遺産ぐるり（東山駅）	4回	67人
・散歩道 山科疏水沿いの史跡ぐるり（御陵駅）	4回	65人
・忠臣蔵 大石内蔵助ゆかりの史跡ぐるり（栂辻駅）	4回	84人
	計48回	793人
	(26年度 78回実施 735人)	

(3) 外国人観光客向けウォーキングイベントの実施

平成19年度より実施している外国人観光客向けの英語のガイドによる祇園ウォーキングツアーおよび竹林や街並み保存地区を取り入れた嵯峨野ウォーキングツアーを引き続き実施した。

○祇園ウォーキングツアー 週3回（月・水・金） 夕方実施
 実施回数 158回 参加人数 4,515人（26年度 5,070人）
 （25年度 3,598人）

○嵯峨野ウォーキングツアー 週1回 木曜実施
 実施回数 40回 参加人数 148人（前年度 143人）

11 新たな観光素材の発掘と活用

京都ならではの観光素材を新たに発掘して全国に情報発信し、リピーターの確保を図るため、新たな観光素材を秘める地域観光の推進（27年度は、夏は三尾、冬は京都駅地域）、京都が誇る歴史文化をたどる観光の振興や京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用した京の食をテーマとしたイベントのほか、新緑が美しい初夏の「青もみじ」や紅葉が色づく前の初秋の「観月」にもスポットをあて、宣伝活動を展開した。

12 「京の七夕」事業の実施

オール京都で組織する「京の七夕」実行委員会に参画し、京都の新たな夏の風物詩として定着させるべくより一層の宣伝PRに努め、市内の社寺や観光施設などの協力を得て実施した。

6回目の今回も、「堀川会場」と「鴨川会場」をメイン会場とし、堀川会場においては七夕のストーリー性を体感できるエリア設定や「香のトンネル」などの新規イベントを実施し、鴨川会場においては初めて「ウォーターアートプロジェクション」や「ラブカメラ」を実施し、魅力の向上に取り組んだ結果、期間中の天候にも恵まれ、過去二番目に多い76万人を超える来場者となった。

開催期間 8月1日～10日 10日間
 来場者数 762,000人（前年 651,000人 前年比 117.1%）

13 京都・花灯路事業の実施

京都の年中行事として定着した京都・花灯路事業は、12月の嵐山・花灯路で11回目、3月の東山・花灯路で14回目を迎え、当協会も京都市、京都府、京都商工会議所、京都仏教会、京都文化交流コンベンションビューローと共に構成団体の一翼を担い実施に当たった。

嵐山花灯路では、長神の杜や小倉池のライトアップをリニューアルするなど、北エリアを中心とした魅力の向上を図ったことや、冷え込みの厳しい日も少なかったことから過去最高の来場者数を記録し、東山花灯路では新規事業の「ネオンアート」の展示や若冲をテーマにした「サンドアートパフォーマンス」など多彩なイベントを実施し、盛況を博した。

○京都・嵐山花灯路—2015

開催期間 12月11日～20日 10日間

来場者数 1,393,000人（前年929,000人）

○京都・東山花灯路—2016

開催期間 3月12日～21日 10日間

来場者数 1,165,000人（前年1,128,000人）

14 三大祭観覧席設置事業および伝統行事等への執行補助

(1) 三大祭観覧席設置事業と宣伝販売促進

葵祭・祇園祭山鉾巡行・時代祭の京都三大祭当日に有料観覧席を設置し、観光客の快適さ、利便性および京都の魅力を伝えるとともに、旅行会社等へのセールス活動やマスコミ機関等への報道要請を行った。また、時代祭では御池通に通訳案内士による英語解説付き観覧席を新設し、外国人観光客への利便性の向上を図った。

(2) 四大大行事等への執行補助

観覧席事業等の収入を財源として京都五山送り火を加えた京都四大大行事に対して、安定した執行および保全を図るために補助金を交付した。

また主な伝統行事や観光行事に対しても補助金を交付した。

(3) 四大大行事協賛会の運営

四大大行事協賛会のうち、葵祭行列協賛会、京都五山送り火協賛会については、事務局の運営を担い、募金活動を行ったほか、祇園祭協賛会、時代祭協賛会については、事務局構成メンバーとして、補助団体、執行団体との連携のもとに、協賛会の円滑な運営を図った。

15 京都さくらよさこいの実施

春の観光客誘致と京都市役所前を中心とした京都のまちの環境美化啓発の推進を目的として、「第 11 回京都さくらよさこい」を実施した。

開催日 4月4日(土)・5日(日)

会場 京都市役所前広場、下鴨神社など

16 元離宮二条城を舞台にした各種イベントへの事業協力等

元離宮二条城において「二条城まつり」や「二条城ライトアップ」事業に協力し、ポスター、リーフレット、ホームページなどの媒体による宣伝活動を行い、二条城への誘客に努めた。また、イベントを盛り上げるため、京の老舗名産品展を開催した。

○二条城ライトアップ 2015 平成 27 年 3 月 20 日～4 月 12 日

○二条城ライトアップ 2016 平成 28 年 3 月 25 日～4 月 17 日

○二条城まつり 平成 27 年 10 月 17 日～12 月 14 日

○京の七夕：「京の老舗名産品展」 平成 27 年 8 月 1 日～10 日

17 オール京都の観光振興会議の運営

平成 18 年にオール京都により設立された京都観光振興会議の事務局を引き続き務め、府市連携による広域観光の推進をはじめとした、オール京都の協力体制強化について活発な意見交換や協議を行った。

18 JR京都駅“歓迎いけばな”の運営

入洛観光客を花で迎える JR 京都駅構内の“歓迎いけばな”を、いけばな圏<京都>の協力により引き続き運営した。

Ⅲ 入洛観光客に対する案内事業 (公益目的事業会計)

1 観光情報の提供と修学旅行相談業務の運営

当協会事務局において、観光情報や資料の提供等を行い、利用者に適切かつタイムリーな情報を発信するとともに、旅行会社やマスコミ等関係各機関に対しては適宜情

報発信した。あわせて、修学旅行相談の窓口として、学校関係者や修学旅行生を対象とした相談業務や資料の提供を実施し、利用者の利便向上を図った。

また、平安神宮前無料休憩所内にある観光情報コーナーへの観光資料の提供を実施した。

2 京都総合観光案内所「京なび」の受託

J R 京都駅ビル 2 階の京都総合観光案内所「京なび」の運營業務を同運営協議会より受託し、年中無休で午前 8 時 30 分から午後 7 時まで、年間 85 万人の来所者に対し各種観光案内、宿泊紹介や交通案内に伴う乗車チケットの提供業務等を行った。

日本政府観光局 J N T O の外国人観光案内所認定制度において西日本で初めて最高ランクのカテゴリー 3 に認定され、外国人観光客に対しては京都市内の案内業務にとどまらず、日本全域の観光案内・情報発信を、多言語・ワンストップで行った。秋の紅葉シーズンおよび春の桜シーズンの「京なび」混雑緩和の取組のひとつとして、J R 京都駅前広場に臨時観光案内所を開設し、秋・春の 9 日間あわせて約 3 万人の観光客の利用があった。

平成 27 年度相談者数	854,272 人	(26 年度 810,554 人)
		(25 年度 793,980 人)

IV 観光客の利便向上を図る販売事業 (収益事業等会計 [収益])

1 二条城売店の運営

元離宮二条城の無料休憩所内の売店において、昭和 46 年から約 44 年間、京都の推奨土産品の展示即売等を行い、入城者の利便に供してきたが、無料休憩所の耐震補強工事に伴い、新たに物販及びイートインコーナーの店舗運營業業者の公募が行われることとなった。当協会も応募し、改めて運營業業者として選定され、平成 28 年 3 月 13 日 (日) から、新店舗での物販及びイートインコーナーを運営することとなった。

2 有料出版物の販売

観光客の利便に供する有料出版物の窓口販売を推進した。

3 無鄰菴における抹茶接待

京都市から管理運営を受託している無鄰菴において、受入サービスの一環として抹茶接待等を実施した。

V 観光施設等運営事業 (収益事業等会計 [収益])

無鄰菴の受託

山県有朋公ゆかりの史跡“無鄰菴”の管理運営を京都市から受託し、入菴者の受付等を行った。

VI 共催・後援・会員向け事業 (収益事業等会計 [相互扶助その他])

1 会員勧募

当協会の組織の強化及び拡充を図り、京都を挙げての観光振興を図る推進体制を確立するため、観光関係事業者をはじめとした各界の幅広い分野に対し、年間を通じて積極的な勧募活動を行った。

平成 27 年定時総会以降の入会件数 50 件 (4 月 27 日現在)
(前年度 36 件)

2 会報の発行

当協会の活動状況などを中心に編集した「京観協だより」を年 4 回発行し、会員への情報提供を行った。協会主催事業の紹介や結果報告等とともに、新入会員の紹介や京都総合観光案内所の利用状況の報告など、会員にとってより有用性の高い情報提供を行った。

3 会員紹介・PR事業の実施

- (1) JR 京都駅ビル内の京都総合観光案内所「京なび」をはじめ各インフォメーション窓口や、発行物、インターネットにおいて、観光協会会員の店舗・施設を優先的に紹介、PRを行った。
- (2) 各言語観光地図を、「京なび」京都総合観光案内所において配布することにより、会員情報を発信した。

- (3) 会員に対して、情報提供を呼びかけるシートを送付し、会員情報の収集及び発信を行った。

4 表彰

観光意識の高揚を図るため、観光事業の振興に貢献のあった個人の表彰を行った。

5 共催・後援

年中行事を中心に各種観光催事など 144 件を共催・後援し観光客へのPRを実施した。

Ⅶ 関係団体等共同事業 (収益事業等会計 [相互扶助その他])

1 広域観光事業

(1) 全国京都会議の運営

京都と全国の“小京都”はじめ、京都ゆかりの市町で組織している全国京都会議の事務局を運営し、昨年の総会で決定した設立 30 周年記念事業である旅行雑誌への特集記事の掲載やロゴマークの選定、また、京都と小京都のイメージアップおよび観光客誘致を図る事業として誘客ポスターの作成配布やホームページでの情報発信等、広域観光宣伝を実施した。

また、10月2日に長野県飯山市において31回目となる通常総会を開催し、全国21市町67名の参加のもと、事業計画等が承認された。

加盟市町数 平成27年度総会時 47市町

(2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市や大都市の観光関係団体で構成する大都市観光協会連絡協議会に参加し、通常総会、事務主管者会議において情報交換を行った。

(3) 近隣各市町との広域観光

京都府観光連盟との連携により、府域各市町との広域観光の推進を図るとともに、京都総合観光案内所においては、京都府全域の情報収集やポスター、パンフレット等を収集し、利用者へのきめ細かな情報提供を行い京都府全域の観光振興を図った。

(4) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画して足利氏の顕彰を図る諸事業を推進

した。

2 京都観光施設協議会の運営

京都市内およびその近郊の観光対象施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局を担当し、施設マップ等の共同宣伝用印刷物の配布や観光キャラバンの実施等、共同して誘致宣伝・受入対策の推進を図った。

加盟施設数 23 施設

3 関係団体等との共同事業

- (1) 京都は、優れた会議施設と豊富な観光資源を有するコンベンション都市として学術会議を中心にした多くの各種会議等の開催実績があり、京都文化交流コンベンションビューローと各種情報を交換するなど連携し、会議誘致の推進を図った。
- (2) 京都ブランド名産品公正取引協議会に参画し、観光土産品の品質向上に努めた。
- (3) 京都市まちの美化推進事業団に参画し、観光地美化キャンペーンや美化啓発活動に取り組んだ。
- (4) 公共交通機関でおこしやす・京都市協議会に参画し、公共交通機関を利用した観光客誘致の推進を図った。
- (5) 嵐山および東山交通対策研究会に参画し、観光地における交通問題について検討を進めた。
- (6) 京都S K Y観光ガイド協会などの市民ボランティアガイドや学生観光ガイド団体との連携のもと、京都総合観光案内所や「京の冬の旅」事業をはじめとする各種事業を実施し、観光客の受入案内業務を推進した。
- (7) 京都一周トレイル会に参画し、京都市が設定する京都一周トレイル事業の推進に取り組んだ。
- (8) 京都市メディア支援センターに、アドバイザーとして参画し、各種メディア等の京都での取材及び映像制作などの支援を通じて、京都の魅力の発信に取り組んだ。
- (9) 京都創生推進フォーラムに参画し、「京都創生」の実現に向けて、関係機関・団体と相互に協力し、地元京都における京都創生の機運の高揚に取り組んだ。
また、東京都心を舞台に京都創生P R事業「京あるき in 東京」を開催し、「国家戦略としての京都創生」の発信および認知向上を図るとともに、京都の観光、歴史、文化の魅力発信により、京都ファンの一層の拡大に取り組んだ。
- (10) 京都岡崎魅力づくり推進協議会に参画し、岡崎地域を世界に冠たる文化・交流ゾーンとするとともにさらなる賑わいを創出するため取り組んだ。

- (11) 京都市地域活性化総合特別区域協議会に参画し、平成 23 年 12 月 22 日に指定を受けた「地域活性化総合特区」に基づき、国際観光都市、歴史都市、文化芸術都市としての京都の魅力をさらに磨きあげ、これまでにない質の高い観光スタイルを提案し観光立国の実現を先導するとともに、国際的な文化芸術創造の場を提供することにより、多彩な文化交流による国際相互理解の推進を図った。
- (12) 京都マラソン実行委員会に参画し、国際観光都市京都の魅力を国内外に発信するとともに、京都ブランドの向上に取り組んだ。
- (13) 京都府中央リニアエクスプレス推進協議会へ参画し、中央リニアエクスプレスの推進並びに京都への誘導と建設促進を図るため取り組んだ。
- (14) 平成 27 年 3 月上旬から 5 月上旬にかけて京都市内において開催された京都国際現代芸術祭組織委員会に参画し、国際展の開催により、文化発信力の強化による都市格の向上、新たな国際展創設による京都の活性化、国内外からの新たな集客等を推進するため取り組んだ。
- (15) “京都をつなぐ無形文化遺産”審査会に参画し、京都に伝わる様々な無形文化遺産の価値を再発見、再認識し、内外に魅力を発信するとともに、大切に引き継いでいこうという市民的気運を盛り上げた。
- (16) 琵琶湖疏水船下り実行委員会に参画し、明治期の先人たちが築き上げた貴重な産業遺産である琵琶湖疏水を活用し、新たな観光資源を創出することにより、琵琶湖疏水沿線地域の更なる活性化を図った。
- (17) 第 66 回華道京展に参画し、華道発祥の地である京都華道会の発展と、市民文化の向上に取り組んだ。
- (18) 琳派 400 年記念祭委員会に参画し、平成 27 年に発祥から 400 年を迎えた、京都にとってかけがいのない文化遺産であり伝統工芸の礎でもある琳派について、理解と普及啓発活動を推進した。
- (19) その他の参画団体または参画団体との共同事業
 - ・公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
 - ・公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
 - ・公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
 - ・公益社団法人京のふるさと産品協会
 - ・一般財団法人国民公園協会
 - ・一般財団法人地域伝統芸能活用センター
 - ・公益社団法人日本観光振興協会
 - ・公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
 - ・IT コンソーシアム京都
 - ・明日の京都文化遺産プラットフォーム
 - ・岡崎桜回廊十石船めぐり実行委員会

- ・安心救急ネット京都推進会議
- ・観光立国推進協議会
- ・京都学生祭典企画検討委員会
- ・京都・観光文化検定試験検定委員会
- ・京都市自動車環境対策協議会
- ・京都市生涯学習市民フォーラム
- ・京都市内博物館施設連絡協議会
- ・京都ツーデーウォーク実行委員会
- ・京のアジェンダ 21 フォーラム
- ・古典の日推進委員会
- ・「スローライフ京都」推進会議
- ・第 29 回日本医学会総会 2015 関西「アドバイザーボード京都」
- ・「伝統産業の日」実行委員会
- ・東海自然歩道連絡協会
- ・ミラノ国際博覧会京都ウィーク実行委員会
- ・京都文化フェア推進委員会
- ・「歩くまち・京都」推進会議
- ・関西ワールドマスターズゲーム 2021 組織委員会
- ・嵐電サミット
- ・京都文化フェア推進委員会
- ・文化庁等移転推進に関する協議会
- ・OKAZAKI LOOPS 実行委員会
- ・京都テロ対策ネットワーク
- ・あるきやす京都 100 巡り
- ・あったか京都ユニバーサル観光推進ネットワーク会議
- ・京都市温泉観光活性化協議会

Ⅷ 事務報告 (平成 27 年度定時総会～28 年度定時総会)

1 総会

定時総会 (ウェスティン都ホテル京都) 平成 27 年 6 月 16 日

2 理事会

(ウェスティン都ホテル京都) 平成 27 年 6 月 16 日

(京都センチュリーホテル) 平成 28 年 3 月 16 日

(ANA クラウンプラザホテル京都) 平成 28 年 5 月 17 日

3 委員会

(1) 総務委員会 (京都ホテルオークラ) 平成 27 年 12 月 16 日

(ザ・リッツ・カールトン京都) 平成 28 年 3 月 7 日

(京都タワーホテル) 平成 28 年 5 月 12 日

(2) 企画委員会 (京都ロイヤルホテル&スパ) 平成 27 年 11 月 4 日

(新・都ホテル) 平成 28 年 3 月 4 日

(3) JR 委員会 (ウェスティン都ホテル京都) 平成 27 年 8 月 31 日

4 決算監査会

平成 28 年 5 月 13 日